

■今年度の活動内容設定時に参考とした「他校の環境に関する取組」

松浪中学校でも行っている「制服リサイクル」は、制服だけでなくジャージや体育館履きなどもリサイクル品として再利用されている。

■今年度のグリーンカーテン実施状況
 (朝顔、ゴーヤ、へちまなど)
実施した 実施していない

取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
資源・4R・廃棄物削減の取組	ごみの分別・リサイクル活動等を推進し、ごみの量を減らします。	1	エコキャップ運動に取り組む(ポリオワクチンの寄付とゴミの減量によるCO2削減)	生徒会本部	生徒会	・校内だけでなく、隣接する浜須賀会館で集めているエコキャップについて、生徒会本部で回収を行った。 ・3年学年代表保護者会主催のバザーが11月に行われ、例年よりも多くの物品が提供され、古い型の制服以外はほぼ購入された。呼びかけを一度増やしたのが良かった。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 分別やリサイクル等、それなりに意識が定着してきているため。 【今後の課題】 ・職員のごみ分別が徹底できていない。(通常のごみと、事業所ごみの分別の違いが徹底できていない) 【次年度への引継ぎ事項】 ・職員のごみの分別を徹底する。
		2	印刷、コピーの無駄をなくす。裏面使用を積極的に行う。職員会議などの資料のペーパーレス化を進める。	教頭 教務部	教職員		
		3	ごみの分別を徹底し、教職員、生徒ともに自分が出したごみは持ち帰る。	教頭 保健安全部	教職員		
		4	基準服・学校ジャージのリサイクルを行う。	3年	教員 保護者		
省エネルギーの推進	日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践します。	1	節電、節水について、その方法をさらに発展・具体化できるよう委員会で話し合う。	生徒会保健委員会 生活委員会	生徒会	・インクマスター節約のため、貼紙をして職員に徹底を図った。 ・生徒の日直の仕事として、自分の教室移動先の教室において電気を消す活動を学年として行った。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 節電に対する意識づけができたため。 【今後の課題】 まだ電気をつけっぱなしの教室が時々あるため、生徒と教員の意識を高めること。 【次年度への引継ぎ事項】 同上
		2	A4やB5の用紙を印刷する際にはA3、B4用紙に連写で製版し、インクマスター用紙の節約に努める。	環境管理部	教員		
		3					
		4					
生き物みどり	植物の育成などを通し、生徒たちの自然を愛する心を育てる	1	正門付近に植物を植え、水やりなどの植物の世話をボランティアにお願いする	教頭 特別支援級 教員	教員 生徒	・正門付近のプランターは8組(特別支援級)のボランティアの生徒によって、年3回植え替えを行った。水やりは、保護者が当番で行った。 ・8組で野菜を育て、収穫したものを職員室で販売した。 ・技術科で植物の栽培を行い、その成長を記録した。	【取組の評価】 <input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった 【理由】 プランターだけではなく、花壇にもボランティアが花を植えたり、観察池の生物と親しんだりできたため。 【今後の課題】 経費削減のため、プランターの花植え回数は削減せざるを得ない。 【次年度への引継ぎ事項】 観察池の掃除を忘れずに行う。
		2	特別支援級において玉ねぎなどの野菜を育て、収穫を行う。	特別支援級教員	教員 生徒		
		3	技術科で植物の栽培を行い、その成長を記録する。	技術科教員	教員 生徒		
		4	理科で植物や動物についての学習や自然環境の学習を行う。	理科教員	教員 生徒		
		5	技術科で植物の栽培を行い、収穫物を実験や観察に使う。	理科教員	教員 生徒		

●写真等の記録:活動や発表の風景等取組の記録を、必要に応じて添付してください。写真等の下に、キャプションをご記入ください。個人情報の取り扱いにご注意ください。

写真

写真

●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

尾木 左紀子

【今後の方向性について】

「資源・4R・廃棄物削減の取組」、「省エネルギーの推進」、「生き物 みどりの保全」について、生徒が自ら気づき、行動に移せるよう教員が支援する。また、そのためにも教員の側も環境に対する意識を高められるよう取り組む。